

科目名称：	保育者・教職入門	
担当者名：	酢谷 温子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)の制度的位置づけ及び役割と意義について学ぶとともにその職務内容および専門性についての理解を深める。また、保育者とその他専門家等との協働について、保育者が学び続ける姿勢の獲得とそのための方法を理解する。		
授業の達成目標・到達目標		
<p>本授業では、専門職としての保育者の役割、倫理、制度的位置づけ、専門職としての成長等について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の制度的位置づけ及び役割と意義について理解し職務内容および専門性について理解を深める。 ・保育の専門性について考察し理解する。 ・保育者の協働について、学び続ける姿勢の獲得とそのための方法を理解する。 ・保育者の専門職的成長について理解する。 		

幼児教育学科	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)		30	30	40	100
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 34年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
専門知識	保育者としての専門的知識を十分に理解し身につけられている	保育者としての専門的知識を理解し身につけられている	保育者としての専門的知識を理解している	保育者としての専門的知識の理解に乏しく更なる努力が必要である
学びの積極性	保育者としての使命感や専門職として学ぶという意欲や積極性がある	保育者としての使命感や専門職として学ぶ意欲や姿勢がみられる。	保育者として使命感や専門職としての学ぶ意欲がみられる。	保育者として使命感や専門職としての学ぶ意欲や姿勢に欠けている
表現力発表力	発表力も表現力もあり他者との協調協働の姿勢が身につけている	表現力発表力もあり周りとの協調協働の姿勢がみられる	必要とされる表現力発表力がある。他社との協調協働に努めている	表現力発表力が乏しく、他者との協調協働に欠ける
記述内容	課題やレポートに必要なとされる専門的説明や内容が的確丁寧読みやすい記述	課題やレポートに専門的内容や必要な内容が的確に読みやすく記されている	課題やレポートに専門的内容や必要な内容が読みやすく記されている	課題やレポートに専門的内容が乏しく記述内容にまとまりがなく努力が必要

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション(授業の進め方、保育者・教職入門についての受講諸注意)自己他己紹介	シラバスを確認し本教科の内容概略ノートにメモしておく	40分
第2回 「保育者になる」ということ 保育者のイメージと職業的特徴、志望動機(グループワーク⇒発表)	保育者なりたいたいと思った志望動機まとめておく(教科用ファイルを準備する)	30分
第3回 幼稚園教諭免許と保育士資格及び保育教諭の存在意義と目的(園の生活とはDVD視聴)	幼稚園とは、保育園とは、認定こども園とは、概略調べておく	40分
第4回 保育者の一日 ディアリープログラム(幼・保・こども園の違いについての学びとカンファレンス)	園生活のスケジュールを読んでおく(教科書p121~122 p133~134)	30分
第5回 子どもの思いや育ちを理解する(子ども観、保育観)	教科書(第2章の概略読み大まかにまとめておく)	40分
第6回 子どもの思いや育ちを理解する(幼児理解、リフレミング:学生同士のリフレミング)	教科書p11~p15を読み内容を把握しておく	20分
第7回 子どもと一緒に心と身体を動かす(保育者の役割)	保育者の役割(人的環境としての保育者についてまとめておく)	30分
第8回 子どもと一緒に心と身体を動かす(乳児保育現場の保育所 パワーポイント)グループワーク発表	乳児保育の重要性(保育指針 乳児保育についてまとめ)	30分
第9回 豊かな文化や自然との出会いをつなぐ(絵本:環境)	心の栄養となる絵本・環境の役割の予習まとめ(自分の思い)	30分
第10回 豊かな文化や自然との出会いをつなぐ(環境)グループワーク	人的・物的・自然事象・社会事象についてのまとめ	40分
第11回 保護者や家庭と一緒に学び、保護者との協調協働の実際 求められている保護者支援(ロールプレイング)	教科書(第5章p77~p93)読み概略まとめておく	30分
第12回 保育者が行う子育て支援とは、個人面談や相談の必要性について(グループワーク:ロールプレイング)	保育者の子育て支援の方法予習(他教科での学びも応用してのまとめ)	30分
第13回 保育者の専門性(専門職としての保育者と他との協働)	協働・非認知能力・応答的環境について調べ学習しておく	40分
第14回 保育者のキャリア形成と生涯発達	どのような保育者として歩みたいか800字にまとめておく	40分
第15回 授業のふりかえりとまとめ:保育者・教職入門レポート	どのような保育者として歩みたいか総合的にまとめておく	40分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
 授業内小テスト(30%)、コメントシート課題・レポート(30%)、ノート・ファイル整理(20%)、授業への積極的関与(20%)

課題に対するフィードバック

提出物に関しては、各自に応じたコメントを記入し返却する。ノート・教科用ファイルも定期的に提出点検し口頭コメントにてフィードバックを実施し学びの意欲へ繋げる

教科書・参考書

教科書 改訂「保育者論」 横田二三子・大沼良子・増田時枝 編著 建帛社 2019
 参考書・参考資料等
 「幼稚園教育要領」・「保育所保育指針」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」他教科と共用